



自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

4/8(火)

テーマ: 『実践は命、継続は力』

出席20社20名

(美浜16、他会4、非会員0)

講師: (社)倫理研究所 首都圏副方面長 松丸 靖 氏



Yasushi Matsumaru

松丸先生の講話で、倫理の理解度が一段とアップ!

「実践は命、継続は力。これは当たり前だが、今日はその確認をさせて頂きたい」。

松丸氏が倫理に出会ったのは、健康になりたくて色々な方法を試し悩んでいた25歳の時だった。倫理指導を受け、人を責める心、喜んでハイと受けられない心が原因とわかった。以来、倫理の実践を重ね、健康を取り戻した松丸氏だが、40年間倫理を勉強して思うのは、実践をしなければ自分が変わらない。自分が変わらなければ、周りを変えることはできないということだ。

実践しなければ意味がない。「知っている」と「やっている」では、次元が違うのだ。

- 実践の大切さを教えてくれる、素晴らしい教えを2つ紹介する。
- 松丸氏の師の教え「分かっていると言うけど、分かっているのよ。
分かっていたらやるよ」
- 島津忠良「いにしへの道を聞いても唱えてもわが行いにせず甲斐なし」

『万人幸福の葉』に示された創始者の願い

「読書百篇義自ら通ず」という言葉がある。年間約50回のMSで、葉は十七箇条あるから、年間たった3回しか読んでいないのだ。これでは読み足りない。創始者丸山敏雄は、葉をどんな風に活用してもらいたいと願ったのか?

- (7頁) 理屈なしにやってみる…やればわかるし、行なえばそれだけ出来る
- (10頁) すべて無条件に、このまま実行…必ず新しい良い結果が現れます
- (16頁) 理屈なしに行って…きっと変わった結果…新しい世、喜びの世を

創始者は、理屈なしに実行して変わってほしい、そういう生き方のできる人になってほしい、多くの人に知らせ、喜びの世を生み出してほしい、と願ったのだ。

その実践を長く続けるために

葉13条には、「終始一貫ということは、成功の秘訣であるが、これが出来ないのは皆本を忘れるからである」とある。本(もと)とは、初心であり、恩であり、「最も大切な、わが命の根元(もと)は、両親である」。

●初心

「苦しんで入学試験をうけて、登校が許された喜びの日を忘れ、勉強しようとして志したこと」、「開店の日のいきごみ」(葉13条)、また世阿弥の著書『花鏡』にも、「初心忘るべからず」とある。初心を忘れるから、「怠ける、あやまちがおこる」。

●恩

人は、人と人、人と物、人と自然の関係の中で生かされている存在。恩とは、恵みであると感じる心、ありがたいと感じる感情、お世話になりましたという感謝の念だ。創始者は、「恩の自覚の程度が、人間の程度である」と言っている。

●生命源

自分の命があるのは、父母がいたからである。その父母にも、同じ様に父母がいた。こうして自分の命の源に遡ると、限りなくたくさんのご先祖様の命がある。全てのご先祖様に感謝するのは難しいから、せめて自分の父母の、生きていれば誕生日、亡くなっていれば命日を、心に刻んで生きたい。

●終始一貫

これから先ずっとやるのかと思えば、負担になる。だから、何事も「一日一回」の実践だ。「一日一回」、これは上達の秘法である。地球が一回まわる。その間に一度くりかえす…大宇宙と呼吸を合わせる(『純粋倫理原論』)

松丸氏は昭和44年11月27日のことを忘れない。「明日の朝から早起きするぞ」と宣言したあの日、奥様に「何日続けられますかね?」と言われたことが励みになって、倫理を40年間続けることができた。一度始めたら止めない。来月結婚45年になる。

次回 第873回MS! 4/15(火) 6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張 (043-297-7777)

テーマ: 『気づきで変える』

講師: 松戸市倫理法人会 副会長 鈴木 拓雄 氏

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく